

各相談室・検査の連絡先

- 緩和ケア室（相談受付／月～金曜13:00～15:00）
Tel／088-633-7457 (Fax兼用)
- PET/CT検査（受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-812
- セカンドオピニオン外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9654 Fax／088-633-9978 ※完全予約制
- 女性外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9177 (Fax兼用) ※完全予約制
- 遺伝相談室（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9218 Fax／088-633-9219 ※完全予約制
- 臨床試験管理センター（受付／月～金曜9:00～17:00）
Tel／088-633-9294 Fax／088-633-9295
- 補完代替療法室・おくすり相談室（予約受付／月～金曜9:00～12:00）
Tel／088-633-7960 Fax／088-633-7961 ※完全予約制
- アンチエイジング医療センター（予約受付／月～金曜9:00～16:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-979 ※完全予約制
- 美容センター（予約受付／月～金曜14:00～16:00）
Tel／088-633-7047 (初診) 088-633-7903 (再診施術・案内) ※完全予約制
- 患者支援センター[医療相談窓口]（相談受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9107・088-633-9056 Fax／088-633-9107

編集後記

春。新年度のスタートとともに、ついに新しい外来診療棟が完成しました。開院は9月ですので、まだ少し時間がありますが、真新しい施設での業務が楽しみです。きっと蔵本キャンパスの象徴となる建物になるでしょう。とはいえ、旧外来棟を解体し、その跡地が整備されるまで、まだまだ工事は続きます。患者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。（事務部T）

発行者 病院長 安井 夏生

編集委員会 楊河 宏章

広報委員会 松尾 敬志 香美 祥二 武田 憲昭 柿内 聡司 柏原 稔也

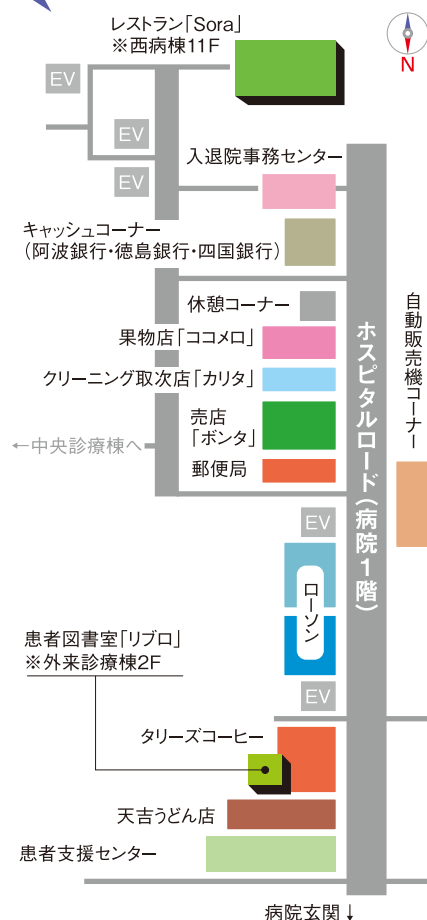
委員 松崎 健司 篠原 千尋 桐野 靖 久米 博子 井上 千尋

熊谷 圭司 植谷 和也 原田 直樹 川野 茂 安崎 郁子

小林 保数 島井 健一郎

事務担当 総務課広報・企画部門 Tel.088-633-7697

ホスピタルロードでは
"左側通行"にご協力をお願いします。



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

<http://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は下記までお寄せ下さい。
bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

徳大病院だより

no.47
2015.SPRING

特集

喉頭がん

■CLOSE UP

金属代替材料としてグラスファイバーで補強された
高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療

■徳大病院ニュース

●専門外来のご紹介

・「緩和ケア外来」を開設 ・「肺炎球菌ワクチン外来」を開設

●先進医療のご紹介

・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査

・S-1内服投与、

オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法

●「徳島大学病院フォーラム2015春」を開催

●「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成

平成26年度最終報告会」を開催

●治験に参加しませんか？

●市民公開講座等のご案内

●禁煙川柳

■患者の皆様へ

新しい外来診療棟

■tokudai-staff information

新任科長のごあいさつ

■地域連携の部屋

地域連携病院14 田岡病院

■食事のヒント

塩分、摂り過ぎていませんか？



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

喉頭がん

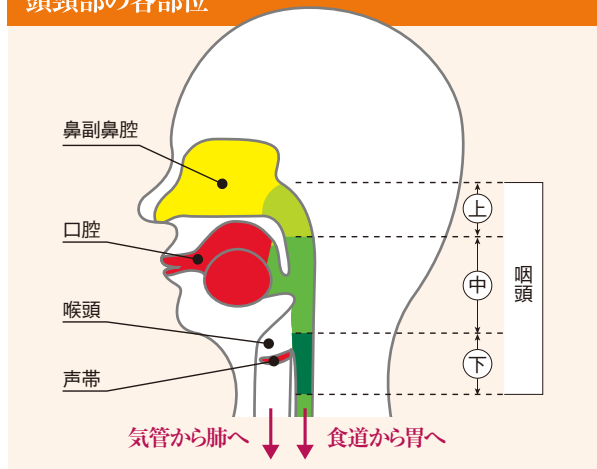
今回は頭頸部がんの1つで、発声や呼吸に関係する喉頭がんについて紹介します。

■頭頸部(とうけいぶ)がんとは

頭頸部は、脳・脊髄・眼球を除いた鎖骨より上方のすべての部位を指し、そこにできるがんを頭頸部がんといいます(イラスト参照)。頭頸部がんは、全がんに占める割合の約5%ですが、発症すると日常生活に大きく影響する病気で、原因は、喫煙・飲酒・多食傾向・生活習慣と言われています。発症する部位によって初期症状は異なり、鼻出血、飲食しにくい、声がかれるなどさまざまです。

治療は、手術治療・放射線治療・化学療法を組み合わせています。飲食や呼吸などの機能を保つために、早期がんでは放射線治療のみを行い、進行がんでも手術での切除範囲をできるだけ小さくして、患者さんに負担を与えないように努めています。

頭頸部の各部位



特徴

生活する上で必要な機能が障害される

原因

喫煙・飲酒が大きな原因

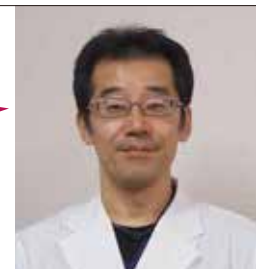
治療

手術治療・放射線治療・化学療法を組み合わせる治療する

次に、頭頸部がんの中でも発症頻度が高い喉頭がんを説明します。

患者の皆様へ

頭頸部がんでは注意してほしいことは、一般的な健康診断では頭頸部がんを見つける項目がないため結果がよくても安心しないことです。少しでもおかしいと感じる時は、本院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診してください。



■説明は
徳島大学病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
阿部 晃治 (あべ こうじ) 副科長
■問い合わせ先
Tel.088-633-7166(外来)

■「発声・呼吸・嚥下(えんげ)」に関わる喉頭がん

喉頭とはいわゆる「のどぼとけ」のことで、「発声・呼吸・嚥下」の3つの働きがあります。なお、嚥下とは食べ物を飲み込んで食道へ送る一連の動作のことで、食べ物が口から食道へ通る際に間違えて気管や肺に入らないように調節しています。

喉頭がんの発生率は10万人に3人程度で70歳代に発症のピークがあり、男女比は10:1で圧倒的に男性に多いという特徴があります。また、原因としては喫煙と飲酒が発がんに関与すると言われており、喉頭がんの喫煙率はほぼ100%と言われています。

同じ喉頭がんでも部位によって初発症状、進行度と症状の変化、転移率、治療法、治りやすさまでいろいろと違います。主な症状は声がかれたり、のどの違和感ですが、進行すると呼吸困難を起こしたりします。診断は耳鼻咽喉科・頭頸部外科で鼻から内視鏡検査を行うことにより可能です。喉頭がんの治療は、早期であれば放射線治療を中心に行いますが、進行すれば喉頭を摘出する手術が必要となります。喉頭を摘出すれば声を出すことができなくなるため日常生活に支障をきたします。そのため早期発見が重要です。



CLOSE UP!



金属代替材料として
グラスファイバーで
補強された高強度の
コンポジットレジンを用いた
三ユニットブリッジ治療

平成26年7月より、「金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療」が厚生労働省の指定する先進医療技術として、本院の口腔インプラントセンターでの実施が承認されま

● グラスファイバーで強化したコンポジットレジンを用いて

奥歯(臼歯)を1歯失った場合に、その両隣の歯を削って連なった歯冠(口の中で見える部分)を装着するブリッジ治療は、保険診療では金属製になり(図A)、より自然なセラミックス製の歯冠は自由診療(保険外診療)になります。歯の色に似た硬質プラスチック(コンポジットレジン)製の歯冠は強度に問題があり、前歯や小臼歯のような噛む力が小さい範囲に限られます。

プラスチックを強化する代表的な方法はガラス繊維を混合して固める方法であり、今回のブリッジの製作方法でもグラスファイバーを両隣の歯につなげる骨組みにして(図B/1)、コンポジットレ진을積み上げていきます(図B/2~4)。コンポジットレジン単体より2倍以上の強度のブリッジとなり、金属材料を使用しなくても噛む力が大きく発揮される臼歯に使用可能となりました。



図A

図B



した。そこで今回は、奥歯のブリッジに白い歯の色をした硬質プラスチック製のブリッジが提供できるようになった先進医療について紹介します。

■説明は、
徳島大学病院 口腔インプラントセンター
友竹 偉則(ともたけ よりとき) 副センター長
問い合わせ Tel.088-633-7371(歯科外来)



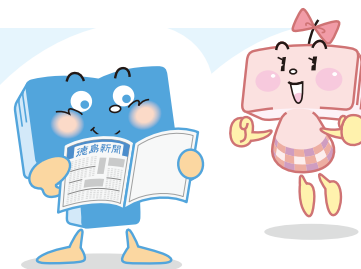
● 治療の選択肢が広がる

今回の先進医療の導入によって、保険診療に則って臼歯に白い歯冠色のブリッジが選択できるようになりました(図C)。これまでの金属製ブリッジに比べ、装着する際の調整や研磨仕上げが容易で、小さな破損が起こった場合にも直接口腔内で修理ができます。また、歯科用金属にアレルギーがある患者さんに対しても使用可能なブリッジになります。

一方で、強い食いしばりや歯軋りがある方はブリッジの磨耗が大きくなって咬み合わせが悪くなる場合もあるので、先進医療の担当医、補綴歯科専門医によって治療を行います。また、失った歯の部位や支台になる歯の状態によっては適応外になる場合もあります。本治療に興味がある方は、本院歯科の担当外来でご相談ください。



図C



「トクシンに載っとるでよ！」
地域のニュースが人の間を結びます

郷土と共に歩む
徳島新聞社

ご購入のお申し込みは ☎0120-46-1940
www.topics.or.jp

専門外来のご紹介

「緩和ケア外来」を開設

本院では、幅広く患者さんやご家族を支援するために緩和ケア外来の診療を開始しました。緩和ケア外来では、患者さんやご家族のからだやこころのつらさを少しでも和らげるための支援を行います。必要な時は、臨床心理士や社会福祉士などのスタッフも一緒にお話をうかがいます。

緩和ケア外来の受診を希望される方は、担当医に「緩和ケア外来受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。

■診察日：毎週金曜日13時～15時 完全予約制

▶緩和ケア外来診察
の一場面



「肺炎球菌ワクチン外来」を開設

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした「肺炎球菌ワクチン」が定期接種となりました。本院では、平成27年1月19日より、通院中の外来患者さん・入院患者さんを対象に接種をはじめました。

肺炎はわが国の死亡原因の第3位で、肺炎による死亡者の95%は、65歳以上です。一般に細菌によって生じる肺炎のうち1/3～1/4は、肺炎球菌が原因と考えられています。65歳以上で定期接種の対象者には、自治体から公費補助が受けられます。希望される方は、主治医にご相談ください。

▶「肺炎球菌ワクチン
外来」の担当スタッフ



臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか？

問い合わせ先／
臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

現在、
治験への参加を
お願いしている
病気は
次の通りです

- ビュルガー病
- 血小板減少症を伴う慢性肝疾患
- 肝細胞癌
- 多発性骨髄腫
- 急性骨髄性白血病
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- 多巣性運動ニューロパチー
- ギランバレー症候群

- 腎癌
- 前立腺癌
- 原発性リンパ浮腫
- 双極性障害
- 不妊症
- 子宮筋腫
- 糖尿病性末梢神経障害
- 悪性リンパ腫

- 膀胱癌
- 局面型乾癬
- 膿疱性乾癬
- 乾癬性紅皮症
- 歯科インプラントを植え込む時に、
上顎の骨が不足している方

製造販売後臨床試験 ●多発性骨髄腫 ●ポリプ状脈絡膜血管症 ●2型糖尿病

どうぞお気軽に
お問い合わせください。

先進医療のご紹介

有床義歯補綴治療における
総合的咬合・咀嚼機能検査

歯を失うことにより食事が困難になり、有床義歯（入れ歯）を装着することにより、食べる能力の回復が図られます。食事時の顎の動きと食べる能力を検査することにより、精密な義歯の作製が可能となります。顎の動きの検査ではパターンリズムを解析し、動きの異常や安定性を評価します。食べる能力の検査ではグミゼリーを用いて評価します。なお本院ではこれまでも顎の動きの検査と食べる能力の検査を行っております。

S-1内服投与、
オキサリプラチン静脈内投与及び
パクリタキセル腹腔内投与の併用療法

胃がんが進行すると、胃の深くまで入り込んで外側に露出し、がん細胞が腹腔にこぼれ落ち、腹膜播種という転移を起こすことがあります。腹膜播種は手術で取り除くことはできません。最近ではお腹の中に直接、抗がん剤を投与する治療法が試みられており、有用性が報告されています。なお本院ではこれまでも腹腔内化学療法を行っております。

市民公開講座等のご案内

■徳島大学病院循環器フォーラム・不整脈から脳と心臓を守る

【日時】平成27年4月29日（水） 13:00～16:00

【場所】徳島大学蔵本キャンパス（大塚講堂）

【参加費】無料 【問い合わせ】循環器内科医局 TEL.088-633-7852

禁煙は 命を守る 防波堤



「敷地内禁煙」川柳

患者の
皆様へ

新しい外来診療棟

新しい外来診療棟の建物が3月末に完成しました。9月24日の開院に向け、現在は患者さまを迎えるための様々な環境整備を進めています。開院までまだしばらくはご迷惑をおかけいたしますが、快適な治療環境の提供に向けてより一層努めて参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年9月24日開院予定

「徳島大学病院フォーラム2015春」を開催

平成27年2月14日(土)、本学蔵本キャンパス内の大塚講堂にて市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2015春」を開催しました。

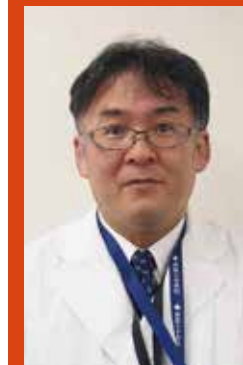
本院では、大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として、地域の皆さんに最新の医療を知っていただくため、春と秋の年2回、「徳島大学病院フォーラム」と題した市民公開講座を開催しています。今回は「関節痛～あきらめないでその痛み～」と「がん～がんを知り、がんを治す～」と題した2部構成で実施しました。

第1部では呼吸器・膠原病内科の関節リウマチの治療法や整形外科の股関節・膝の治療法が紹介され、第2部では日本人の死亡原因の第1位を占める「がん」に関し、疾患プロテオゲノム研究センターから遺伝子について、本院の放射線科、消化器内科、消化器・移植外科、整形外科の第一線で働く専門医から予防と治療について講演を行いました。当日ご参加くださった650人近い参加者の方々は、講師の語る最新医療の話に熱心に耳を傾けておられました。



「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成26年度最終報告会」を開催

平成27年1月24日(土)、ホテルクレメント徳島において「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成26年度最終報告会」を開催しました。他施設を含め214名の参加がありました。最初に、特別講演として本院の安井病院長より「看護職の人材養成システムの確立について」の講演があり、続いて平成22年度採択校4校(名古屋大学、北里大学、神戸大学、徳島大学)からの事業報告、平成21年度採択校の岡山大学から成果報告がありました。事業報告に対して文部科学省の市村専門官より総評をいただきました。後半は、教育講演として千葉大学大学院看護学研究科 手島教授により「看護職のキャリア支援～自律を支える～」をテーマに講演いただきました。



田中 克哉
(たなか かつや)
麻酔科長

- 1964年(昭和39年)生まれ
- 1990年(平成2年)徳島大学医学部医学科卒業
- 2014年(平成26年)教授就任

専門分野

- 麻酔科学

安心・安全な全身麻酔を提供する

病気の治療のために手術が選択される場合があります。大きな手術になると私たち麻酔科医による全身麻酔が必要となります。全身麻酔をすると、患者さんの意識はなくなります。私たち麻酔科医は手術中も患者さんに寄り添い、患者さんの安全を最優先に考えて手術が行えるように全身管理を行っています。麻酔科医は術中に患者さんの様子の観察、循環器系、呼吸器系、中枢神経系、体温、などのモニターの指標のチェックを行い、麻酔薬を適切に投与して安全に手術が終了できるようにしています。

また、術中だけではなく、術前にご病気の有無などをお聞きし、血液検査などで全身状態をチェックさせていただき、麻酔に問題点があるか確認しています。そのうえで麻酔方針を決定して、患者さんにご説明させていただいています。術後も痛みの有無や術後の嘔気嘔吐の有無などもお聞きしています。

大学病院という特性上、麻酔に関連する基礎研究、臨床研究に力を注いでいます。近年、新しい麻酔薬の開発やモニターなど機器の進歩により安心して麻酔が受けられるようになっていますが、もっと安心して麻酔を受けてもらえるように研究を行っています。

これからも外科系各科の先生方、内科系の先生方と密接に連携を取りながら、安心して安全な麻酔、手術が受けられるように努力していきたいと考えています。

 HOTEL CLEMENT
TOKUSHIMA



<http://www.hotelclement.co.jp> ←CHECK!

ホテルならではの上質な空間と、行き届いたサービス。
全ての客室・レストラン・宴会場など、全面リニューアルオープンしました!



JR徳島駅
直結ホテル

【ホテルクレメント徳島】
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
TEL.088-656-3111



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.18 地域連携病院⑭「田岡病院」

今回は、救急医療に力をそそぐ田岡病院を紹介します。

■ 質の高い救急医療の提供

田岡病院は、1926年に設立してもうすぐ90周年を迎える歴史ある病院です。徳島大学病院との連携は設立当初からあり、徳島大学病院の医師がCT検査や治療などに携わることで医師どうしの繋がりが多くなり、お互いの病院への紹介患者さんも増えてきています。

また、設立当初は山手町にてベッド数を234床設けてスタートし、その後北島町に194床を移転し、残った40床は救急専門として運用を続けました。40床という少ないベッド数でしたが、救急車を年間約2000台受入れるほど、素早いベッドコントロールを行っていたとのこと。病床数が多い徳島赤十字病院や徳島県立中央病院に次ぐ受入れ数で、現在の万代町に移転してからも、県内ベスト3を維持しています。その理由は、救急専門医を4名、リハビリテーションスタッフを152名（うち81名は「きたじま田岡病院」に所属）揃え、早期対応・回復に力を注いでいるからです。また、全国トップクラスの講師を田岡病院に招き、救急の訓練コースを開催するなど、病院全体として救急に対する意識を高めているからだそうです。

■ 患者さんはもちろん医療関係者が利用しやすい病院へ

田岡病院は、救急だけでなくさまざまな専門的知識を持つ医師が増えたこともあり、毎朝全診療科によるカンファレンスを始めたそうです。そこでは、研修医が患者さんの状態及び今後の治療について説明したことに対し、さまざまな視点から医師らが指摘し、その患者さんの最適な治療を導いているとのこと。

また、吉岡病院長の「仕事だけでなく家族や趣味も大切にしてほしい」という願いから、院内に24時間体制の保育園を設けたり、職員同士で勤務時間を調整可能にしたりするなど、職員が働きやすい環境を提供しているとのこと。

最後に、吉岡病院長は、「新しい田岡病院となって5年目を迎え病院としての土台ができてきたので、次の5年を見通した目標を掲げさらにステップアップしていきたい。また、地の利を活かし、徳島大学病院をはじめとした周辺の大病院と連携した新しい医療を提供し、患者さんはもちろん医療関係者が利用しやすい病院を目指していきたい」と、今後の意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



▲院内保育園で笑顔の吉岡病院長

■ 問い合わせ
医療法人 倚山会
田岡病院
徳島市万代町4丁目2-2
Tel.088-622-7788

■ 説明は、
吉岡 一夫（よしおか かずお）
病院長

食事のヒント

テーマ 塩分、摂り過ぎていませんか？

「日本人の食事摂取基準」が今年改訂され、食塩の目標値がより厳しい数値になっています。平成25年に調べた日本人の1日当たりの食塩摂取量は10.2gですが、目標値は男性8g、女性7gに設定され、実際の摂取量と目標値には大きな差があります。脳血管疾患、心疾患などのリスクになる高血圧を予防するためにも、食塩の摂り過ぎには注意が必要です。



回答は、
栄養部
西 麻希
（にし まき）

食材の旨みを活かした減塩メニュー「豚肉のトマト炒め」



【材料】豚肩ロース薄切り肉70g、A（酒小さじ1/2、生姜のしぼり汁小さじ1/2、片栗粉小さじ1）、トマト1/2個、長ネギ1/4本、ごま油小さじ1/2、醤油小さじ2/3

【栄養量】エネルギー285kcal、蛋白質15.1g、炭水化物12.7g、脂質18.6g、塩分0.8g、食物繊維2.2g

作り方

(1) 豚肉は食べやすく切り、Aを順に加えてもみこむ。(2) フライパンにごま油を熱し、豚肉を炒める。肉の色が変わったら、斜め切りにした長ネギをさっと炒め合わせる。(3) くし切りにしたトマトを加えて火を強め、トマトの角がくずれ始めたら醤油をかける。

ちょっと一言

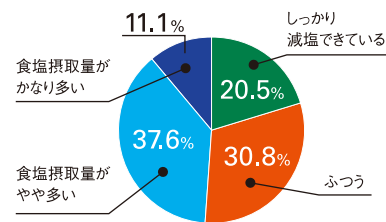
減塩の工夫として、新鮮な旬の食材を選ぶことや、自然だしの旨味を利用することがあげられます。旨味物質としては、グルタミン酸、イノシン酸、グアニル酸などがあります。今回のレシピの材料であるトマトには、グルタミン酸という旨味成分が多く含まれています。食材の旨味を上手に活用して、おいしく減塩を続けましょう。

徳島大学病院フォーラム2014秋



昨年12月23日、あわぎんホールで、毎年恒例の徳島大学病院フォーラムが開催されました。栄養部は、「栄養劇場」を通して減塩の啓発をしました。当日、来場された方に協力していただいたアンケートによると、「しっかり減塩できている」20.5%に対し、約50%の方が「食塩摂取量がやや多い・かなり多い」という結果になりました。

【減塩チェックアンケート結果】



(回答者117人／内訳:男性39人、女性78人)